

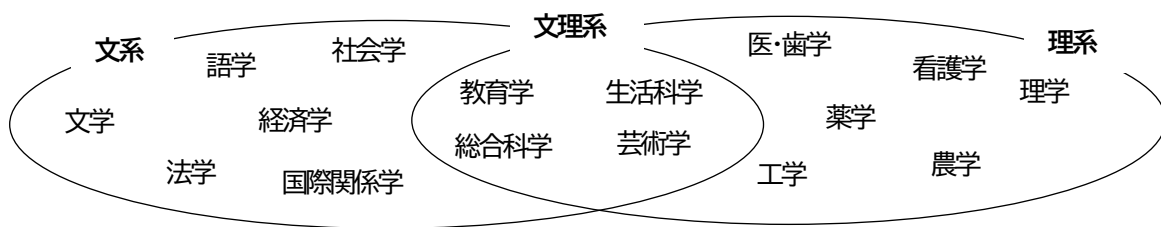


文理選択を考えよう

1年生にとって、文理選択は、進路選択の第一歩となります。自分なりに調べたり、周囲と相談したりしながら、最終的には自分で決定しましょう。文系は、国語や地歴公民、理系は、数学や理科「だけ」を学んでいるイメージがあるかもしれませんが、実施は、文系のなかにも統計を用いる学問があり、理系は論文やレポートの提出が多いなど、ともに総合的な能力が必要になります。



2年生にとっては、3年次の教科選択の時期です。安易に必要な教科を狭めることは避けなければいけません。3年生にとっても、現在の立つ位置を振り返ることも大切です。



先輩たちが文理をどのように選択をしたのかについて、右記のマナビジョンに掲載をしています。是非参考にしてください。

【参考URL】<https://manabi.benesse.ne.jp/seiseki/web/ss/intentionality/planningbook1/c02/02.html>



(参考：ベネッセ ハイスクールオンライン 学級通信)

今後へ向けて、生活を見直そう

前期中間考査の結果は、自分の努力と比較して、どうだったでしょうか？

結果を検証し、場合によっては、生活を見直しましょう。

さて、6/28(土)(3年は6/27(金)～)に**進研模試**が予定されています。現時点での学習の成果を、**全国レベルと比較する貴重な機会**ですので、十分に準備して臨みましょう。

あと1ヶ月弱で、夏休みがやってきます。

夏休みは、1、2年生にとっては、**学習の習慣を確立する良い機会**です。夏季休業中の課外授業への積極的な参加は当然ですが、それだけでなく、得意教科を伸ばしたり、苦手教科に力を入れたり、**プラスαの学習姿勢**が望まれます。**3年生にとって、夏休みは、「夏を制する者は受験を制す」と言われる程、大きな節目**となります。課外授業を中心として、具体的な行動をしてください。それが、秋以降の飛躍につながります。

どの学年にとっても、「**相手を知る**」、「**学習へのモチベーションをあげる**」ことは、受験勉強全体を考える上で、非常に大切です。そのために、オープンキャンパスに参加する、ホームページを見るなど、具体的な行動を是非考えてください。

今年度、**1年生全員を対象に、7/30(水)に東北大学見学会**を実施します。当日は、オープンキャンパスの初日で、多くの高校生が来場します。総合大学を直に見て、その施設や学生の雰囲気、そして、そこを目指す**全国の高校生の熱気**を体感してきてください。

それ以外でも、3年生になる前に、各大学のオープンキャンパスに参加しておくことは大切なことです。そして、比較する意味で、もう一つ以上の学校を見ておくことを勧めます。また、その際、設備の善し悪しだけでなく、学生の印象など、大局的に見るのが大切です。

進路希望調査の結果より

5/10（金）を基準日として、第1回進路希望調査を実施しました。右表は、各学年の進路希望の概況です。

各学年とも、**国公立大を希望する生徒が、70%を大きく超えます。**特に、1学年では、80%に達します。

私立大を加えると、どの学年でも、**四年制大を希望する生徒は、90%以上を占めます。**

また、全学年とも、未定生徒がなく、進路意識の高揚が見てとれます。これは、昨今の進路結果などから、進路希望が身近に感じられたことも一因だと考えられます。

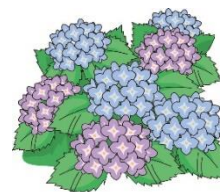
一方で、**進路に関する悩みを持っている生徒は、学年とも80%を超え**、その解消が、今後の目標となります。

学習時間については、特に、1、2年での**学習時間の確保が課題**となっています。週当たりの授業時間が減少し、進路意識の高まりが見られる中で、学習という行動が伴っていない生徒が少なくないということです。今更ながら、**決まった時間に机に向かう習慣をつける**ことを大切にしてください。3年生は、**量は勿論、その質を上げる**ことを考えてください。

いずれにせよ、これから、**家庭学習の充実度**を意識した生活を心がけましょう。

進路希望	1年	2年	3年
国公立大	80.0	73.9	71.9
私立大	11.7	19.7	20.2
国公立短大	0.8	0.4	0.4
私立短大	0.8	0.4	0.4
高等看護	1.3	3.0	3.1
専門学校	4.2	1.7	3.5
就職	1.3	0.9	0.4
他・未定	0.0	0.0	0.0
合 計	100	100	100

3年生 課外授業が始まりました



大学入試に向けての実力養成を目的として、3学年の前期平常・土曜課外が、6/9（月）から始まりました。希望者対象で、部活動の引退までは部活動が優先となります。

課外授業の目的は、学習内容の強化、ペースメーカーであり、**その主体は個人の家庭学習**です。

今春も大学受験で結果を出した生徒は、学校の授業や課外授業を中心とした学習姿勢が見られます。塾や予備校は、あくまでその補助と考えるのが良いと思います。

また、**単に参加するだけではなく、家庭学習と上手に連携**していきましょう。そして、**根気強く継続**しましょう。

7/1（火）で、**共通テストまで200日**となります。焦らず、地に足をつけた学習を心がけてください。

入試頻出キーワード

大学入試の小論文や面接を考えたとき、いくつかのキーワードについて、**その背景や真意**を知っておくことは大切なことです。また、社会の趨勢に関心を持つことは、受験だけでなく、社会人として必要なことです。今回は、その中で、以下の2つの言葉についてまとめてみました。これらについて**整理しておき、自分なりの考え**を持つことが良いと思います。

●メディアリテラシー

メディアから発信されるさまざまな情報を批判的・主体的に受け止め、また、メディアを適切に活用して情報発信を行う能力。①メディアを主体的に読み解く能力、②メディアにアクセスし、活用する能力、③メディアを通じコミュニケーションする能力、の3つの要素から成るといわれる。

●グローバリゼーション（グローバル化）

経済・文化・政治などさまざまな分野の活動とその影響が、国家や地域の境界を越え、地球規模で一体化していく現象。グローバル化ともいう。一方、多くの社会問題の原因ともなり、反グローバリゼーションの運動も起きている。